



あたらしいイナカ合宿

12月、2022年ラスト。 師走の文字通り目まぐるしい日々。

■今年も残すところ1ヶ月

市内で素敵なイベントが毎週開催され、全国各地には国内外からの観光客が少しずつ戻ってきたこの頃でしたが、新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にあります。岐阜県からは“岐阜県医療ひっ迫警戒宣言”が出されました。同時に、学校における“黙食”について文部科学省から新たな通知が出されるなど、新型コロナウイルスへの対応について、これまでとは異なる状況での判断が必要となってきたと感じています。美濃加茂市としては、医療機関と連携を取り、データや研究結果を参考にしながら、年末年始を控える今後の対策について検討していきます。コロナに限らず、インフルエンザをはじめ季節の変わり目の体調管理にはくれぐれもお気をつけください。

さて、平安時代から受け継がれてきた美濃加茂市の特産品“堂上蜂屋柿”を見かける季節となりました。その蜂屋の由来は、大河ドラマ“鎌倉殿の13人”に登場する将軍源

頼朝が「蜂蜜のように甘い」といたく気に入ったところから始まったという逸話があります。また、次の大河ドラマ“どうする家康”の徳川家康においては「関ヶ原の合戦直前に徳川家康へ大きな柿を献上し、早速大柿（大垣）が手に入ると大変喜ばれた」という話も伝わっています。



先日、子どもたちと堂上蜂屋柿を作る体験会に参加させていただきましたが、脈々と受け継がれてきた地域の素晴らしい歴史や資源を次の世代にどのように手渡していくのか。とてもロマンがあり、とても責任重大なことであると感じています。

■講演、講義の機会

これまで、大学での講義や講演を、お話をいただく機会があれば積極的に行ってきました。



特に今月は県外での機会を多くいただきました。福井県主催イベント“エキセントリック・カレッジ”、勝山市主催“あたらしいイナカ会議”、東京では「リディラバ」という社会問題と向き合い課題を解決することを目指した企業が企画する大規模イベント“リディフェス2022”などでお話しさせていただきました。このような時にお話しする内容は「美濃加茂市の紹介・取り組み」や個人の「政治家としての経験」「刑事事件や裁判、冤罪について」など、その時の企画に応じて内容は大きく異なります。美濃加茂市のことを少しでも多くの人に知っていただき、ファンになっていただくことを一つの目的にしながら、主催者、一緒に登壇する人、話を聞いてくれる人たちとのご縁を今後の美濃加茂市に活かしていきたいと考えています。最近はオンラインでのお話の機会も多く、お話しする方法は様々です。“とびだせ市長室”をはじめ美濃加茂市内でのお話の機会も絶えず行っています。是非、私がお話しできる機会がありましたら、お声掛けください。

■サッカーW杯予選G突破！

小学校、中学校、高校とサッカーを中心に学生生活を送ってきた私にとって、4年に一度のこの季節はどうしても胸が高鳴ってしまいます。FIFA世界ランキング24位の日本が世界のトップクラスで活躍する選手が集結したドイツ代表（11位）に勝利したことは驚きであり、小学生の頃に夜な夜なテレビで見た“ドーハの悲劇”の記憶を書き換えてしまう、人々の意志の強さと時間の変化というものに感慨深いものがありました。2戦目のコスタリカ戦は悔しい結果となりましたが、これがサッカーの醍醐味だと私は思います。加茂高校の時には決して強いとは言われないチームでしたが、仲間と一丸となって、前評判の高いチームに粘りに粘って、相手の戦略を狂わせながら勝ち上がっていくことにサッカーの面白さを感じていました。日の丸を背負って躍動する選手やスタッフにエールを送っても、必死になって闘う人々に批判や侮辱の言動が生まれるようなことだけは避けて欲しいと思っています。スポーツの魅力に、一喜一憂しながらも、そこから学べる多くのことを近しい人たちと共有しながら日々の生活に活かしていくことが大切ではないかと考えています。

と、昨日まで書いていましたが。今朝、最高の瞬間を目の当たりにできました！やった！！

■スタジオが新しくなりました！

動画配信を始めて間もなく1年が経とうとしています。スタッフメンバーの支えのおかげで週に1回のペースで配信を続けることができてきました。近況報告や市民の皆さ

んからの意見やご質問を取り上げることを中心にした内容でしたが、今後は市内外のゲストをお招きしたり、美濃加茂市や地域の歴史を紐解きながら今後の美濃加茂市を考えてみるなど、動画の内容にも工夫を凝らしていきたいと考えています。



そのような中、撮影場所として素晴らしい場所が見つかりました。お金をかけることができないため、内容には限界がありますが、現在の技術でできることを新スタジオを新たな拠点として、動画を配信したいと考えています。ぜひご覧いただき、ご意見やご感想いただくと大変幸いです。

■政府、県への要望活動

4月から始まる新年度に向けて、国、県、市は年末にかけて予算の調整を行います。この時期には、美濃加茂市や周辺地域に関わる国や県の事業の必要性を市や地元を代表して、国土交通省はじめ政府関係機関や国会議員の方々に直接説明を行い、予算配分や事業の継続をお願いします。



地元岐阜4区選出、現在、財務大臣政務官の衆議院議員金子俊平先生、また、最近まで国土交通副大臣をお務めされていた参議院議員渡辺猛之先生には、日頃から美濃加茂市内の詳細についてご理解いただいておりますが、改めて、お願いに伺い、心強いお話をいただきました。



交通の要衝として、発展を続けることができている美濃加茂市としてはインフラ整備の充実は非常に重要です。東海環状自動車道、市内を通る国道、新丸山ダムなど、また皆様にもご説明できたらと思います。

藤井浩人